

原典訳記念版

キエルケゴール著作全集

全十五巻

大谷 長 監修



S. Kierkegaard

創言社

監修者のことば

大谷 長

我が国においてキェルケゴールの名が既に早く大西祝や西田幾多郎によって挙げられて以後、本国以外の欧州諸国で寧ろ先ず彼の評価が高まったのに応じて、キェルケゴールの作品の我が国への輸入は独英語を通じてのものであった。初期の独訳は不完全なものであったが、ヒルシュもまた生硬さを免れなかった。他面、ラウリーの英訳は意味把握の卓抜さの反面、原文のコンテクスの微妙さを薄め、キェルケゴールの行文に沿っていくことを難しくする節があった。これからの重訳による従来の邦訳には当然誤認と平盤化を来し、彼の生氣ある吐露からはほど遠い叙述とならざるを得なかった。人はそこに術学的な偏屈者か、甘ちよろい伊達者を見させられて、人間の本質的な弱さを絶対者の慈愛によって救い取らるべしとする種々の機構を込めたキェルケゴールの渾身の配慮を、人は見失うほかはなかった。

我々はこの恐るべき誤解を、小なりとはいえ、正そうと試みた。キェルケゴールの原典に就いてその真意と心情を再現しようとした。原典の本文には飽くまでも忠実に、そして付註には厳にその出所を明確にして、すべての訳者に他者の明白な個人註を無断採用することのないよう心掛けてもらった。そのような事は良識ある学者のすることではないからである。

カナダのマッキノン教授からの、彼の出刊する国際キェルケゴール用語索引への参加要請を機とし、キェルケゴール生誕一七五年の記念年に巡り合いつつ、年来の宿願であった原典全集翻訳出版を遂行するに当って、デンマーク王室よりの異例の出版援助に対し、またそれに倣うデンマーク国内の各財団の後援と国内有意の援助者各位に対して、ここに深謝の意を表するものである。

読者を問うキェルケゴール

——何より正確なテキストの必要——

榎田 啓三郎

キェルケゴールは、世界の思想界に名を知られ始めた頃、人跡稀な、美しい樹木の茂る森林の如き魅力を感じさせてくれたものだったが、いつしか学者たちの容赦ない斧鉞を浴びて、あわれ枯れかかった樹木のみ生い茂る雑木林と化し、彼自身そのような目を迎えるだろうと予想して身震いしたというまさにその情景ながらの姿を眼のあたりに見る思いがするまでになった。なぜそうなったのか。

著書はすべて、字面だけを読みパラグラフに切り刻んで鵜呑みにされることのないよう故意に、一見あいまいで然も冗舌な沈黙の言葉を駆使して書かれてある。だからこそ一知半解のままに危害を加えたりしないで、むしろ手にしないで貰いたいとまで書き残したのである。全体を貫くものは「単独者」の確立とこれに基づく時代批判の精神であると云えようが、これが弁証法的抒情詩という独特な手法で、しかも心の眼で読み取るしかない透かし絵のようにして書かれている。だから読者は何より先づ紙背の文字を読みとる心眼を養うことが要求されるのであって、これを忘れて斧を振って木を切倒しそれを鉋で薪同然にされたところに現に見られる荒廢の因がある。

だから何よりもテキストを正確に、且つ忠実に読みとることが必要となるが、ここに今、原典訳全集が刊行されることは、この要求を満たしてくれるだろうと期待されて喜ばしい。監修者は斯界の第一人者、その傘下の俊秀諸氏の協力と努力によって真に信頼に足る翻訳が、厳密さに加えて、原文の香りをもただよわす詩的な文章で提供してもらえるようお願いしたい。

（哲学者）

画期的なお仕事

喜田川 信

今回、大谷長先生の監修による、原典よりのキェルケゴール著作全集一五巻の刊行が始められたことは、私にとっても大きな喜びです。先生は、その長い生涯を通し一貫してキェルケゴールの研究と日本における普及に捧げて来られました。その、キェルケゴールの厳密にして格調高い翻訳、そしてキェルケゴールへのすぐれた数々の研究書、そして外国の重要なキェルケゴール研究書の多くの翻訳紹介、日本キェルケゴール協会の創設者、会長として長い間多くの後進を育てキェルケゴール思想の紹介普及に努力を傾けて来られたこと、先生ほど日本におけるキェルケゴールの研究に貢献された方は他にないのではないのでしょうか。先生は正にキェルケゴールに捉えられた方でした。私自身月に一度、横浜から大阪まで先生のデンマーク語学習の会に通い先生の情熱に圧倒された二十数年前をなつかしく思います。

今回の著作集は原典からの厳密な翻訳であり、日本のキェルケゴール研究にとって画期的なものであります。心から喜びをもって推薦するものです。

（神学者）

全十五卷編成内容

* (カッコ内は訳者) 定価は本体価格

第一卷	これか―あれか (第一部) (太田早苗、大谷 長)	定価 九五二五円	六五八頁	ISBN 978-4-88146-318-5
第二卷	これか―あれか (第二部) (渡邊裕子、近藤英彦、大谷 長)	定価 九四一八円	五七〇頁	ISBN 978-4-88146-319-2
第三卷	畏れとおののき (尾崎和彦) 受取り直し (尾崎和彦) 不安の概念 (大谷 長)	定価 一五〇〇円	七九四頁 (二分冊)	ISBN 978-4-88146-324-6
第四卷	人生行路の諸段階 (前半) (國井哲義、大谷 長)	定価 八二五三円	三三二頁	ISBN 978-4-88146-320-8
第五卷	人生行路の諸段階 (後半) (山本邦子、大谷 長)	定価 九五一五円	五五八頁	ISBN 978-4-88146-321-5
第六卷	哲学的断片 或いは一断片の哲学 (大谷 長) 哲学的断片への結びの学問外れな後書 (前半) (大谷 長)	定価 九五一五円	六五〇頁	ISBN 978-4-88146-313-0
第七卷	哲学的断片への結びの学問外れな後書 (後半) (大谷 長)	定価 九五一五円	六八二頁	ISBN 978-4-88146-314-7
第八卷	序言 (山本邦子) 仮想された機会での三つの談話 (大谷 長) 文学批評 (大谷 長) 或る女優の生涯における危機と或る危機 (大谷 長)	定価 九一二七円	五二六頁	ISBN 978-4-88146-317-8
第九卷	種々の精神での建德的談話 (大谷 長、藤木正三)	定価 九八〇〇円	五五〇頁	ISBN 978-4-88146-323-9
第十卷	愛の業 (尾崎和彦、佐藤幸治)	定価 九二二三円	六二二頁	ISBN 978-4-88146-316-1
第十一卷	キリスト教談話 (藤木正三)	定価 八五〇五円	四九二頁	ISBN 978-4-88146-312-3
第十二卷	野の百合と空の鳥 (大谷 長) 二つの倫理的・宗教的小論文 (大谷 長) 死に至る病 (山下秀智) 「大祭司」―「取税人」―「罪の女」 (大谷 長)	定価 八五四四円	五〇〇頁	ISBN 978-4-88146-315-4
第十三卷	キリスト教への修練 (山下秀智、國井哲義) 一つの建德的談話 (山下秀智)	定価 九〇〇〇円	四七六頁	ISBN 978-4-88146-325-3
第十四卷	自省のために、現代にすすむ (國井哲義) 汝ら自ら審け! (梶形公也) 我が著作家Ⅱ活動に対する視点 (大谷 長) 我が著作家Ⅲ活動について (大谷 長) 金曜日の聖餐式における二つの談話 (大谷 長)	定価 九〇〇〇円	六一〇頁	ISBN 978-4-88146-311-6
第十五卷	瞬 間 (近藤英彦、國井哲義、山本邦子) これは言われねばならない、それだから今それを言うことにする (大谷 長) 官公キリスト教についてキリストの裁き給うこと (大谷 長) 神の不変性 (大谷 長)	定価 九五一五円	四四八頁	ISBN 978-4-88146-322-2

* 全十五卷揃セット価十五万円 (但し、創言社に直接申込み限り、平成24年3月末迄)

本全集の特色

1 原点から厳密に訳出、**精確な校訂を加えて出版される決定訳全集。**

従来の部分訳、重訳による誤訳、誤読を正し、精確なテキストの全貌を提供する。従来キェルケゴールは殆ど浪漫化、矮小化されて捉えられて来た。その根本的修正を目指し、新時代への思想的・哲学的営為の根底を問う決定訳全集。

2 詳細な原典註、**各国語訳註、及び自註と解説を、全著作各編に付す。**

他者の解釈や研究の無断借用を廃し、出典の明記はもとより、すべてに厳格な作業を課す。また従前の諸研究成果の総括をはかり、学問的な方法を貫く。平板な理解を破り、哲学・神学の生きた原論としてのキェルケゴールを斯界に問う。

3 原典第二版及び第三版との、**対頁参照をはじめて可能にした。**

世界的に、原典第二版、ないし第三版に基づいてキェルケゴール研究が展開されて来た状況に鑑み、その引照頁を全巻に付す。原典両版と和訳の照合を可能にすることで、信頼さるべき根本テキストとして最高水準の厳密な訳出を期した。

4 国際キェルケゴール・インデックス（コンコルドランス）の**日本語部典拠全集。**

カナダのマッキノン教授編纂による、原典第二、第三、英、独、仏、和訳相互対照索引に編入され、国際キェルケゴール索引の典拠となる。原典及び他国語訳と和訳の迅速な照合の要求に応じ、本全集各巻末索引も完備される。

5 キェルケゴール生誕二〇〇年（二〇一三年）を**目前に完結。**

キェルケゴールは一八一三年五月五日に生まれた。その記念すべき生誕一七五年に本全集は出発した。ここに厳密な邦語訳を完成して、現代的問題を根本的に捉えんとする読者、万人に贈り、永く保存に耐える国際版全集たることを期す。

6 デンマーク王室財団より**本全集へ出版助成金下賜される。**

キェルケゴールの比類ない悲願と努力、その思想と業績の忠実・純粹な移植を試みる本全集の企画は本国でも理解され、マーグレテ女王とヘンリク殿下財団及び国王クレスチアン十世財団が揃って異例の出版助成金を下賜された。

われわれ人間が、かの鏡のなかで自分を見るのを喜ばず、そしてそのためにわれわれが鏡に映すのを不能にしそうなものだったら何でも考え出したということ、これが狡猾さというものである、と想定しそうな気持ちにさせられるであろう。そのようにして考え出したものをすべて、われわれは、博学で深遠で真剣な研究や思案だという贅辞でもって誉めたたえているのである。

(364)

聴衆諸君、君は、神の言はどれぐらいの値がつくと思うか。いかなる表現を用いてもいい表すことができないほど高い値がつくと思う、と言わないでくれ。それというのも、非常に高い値段を語って、人が全然何も言わなくなるといふことだあってありうるからだ。だから、何らかの成果を得るために、簡単な人間的な関係を取りあげてみよう。君が神の言の値段を高く見積れば見積るほど、ますます結構である。

70 恋人から一通の手紙をもらった一人の恋する者を考えてみよう——この手紙が恋する者にとって貴重であるのと同様に、私は、神の言が君にとって貴重である、と仮定する。恋する者がこの手紙を読むのと同じ様に、君は神の言を読み、また、読むべきだと考えている、と私は仮定する。

だがおそらく君は、こう言うかもしれない。「よろしい、しかし聖書は外国語で書かれている。聖書を原語で読む必要があるのは、なるほど本来は、むしろ学識者である。しかしもし君が、聖書を原語で読まねばならないというまさにそのことを望み、こだわるならば、よろしい、われわれは恋人からの手紙のイメージに喜んでとどまることができるのである。ただもう少し事柄を限定〔規定〕しておこう。

そこで私は、この恋人からの手紙が恋する者の理解できない言語で書かれており、そしてそれを彼に翻訳してやることができる者もそこにはいない、と仮定する。そしておそらく彼は、自分の秘め事を無関係の者に明かさないうようにするために、なんらかのそのような助けを望むことを、けっしていさぎよしとしないであろう。彼はどうするか？ 彼は辞書を取り、座りこんでその手紙を逐一たどっていつて、一語一

スダ 自省のために、現代にすすむ

原典訳 記念版 キェルケゴール著作全集 (全15巻)

仕様

A5判・上製函入・本文書籍クリーム中性紙使用・
スピン(葉)付・各巻平均五六五頁・口絵二頁・
付録月報「キェルケゴロイアナ」(B6判八頁・
六二頁)

定価

各巻(本体)八、二五三円〜一五、〇〇〇円(分売可)
(全十五巻揃・本体定価合計・一四三、四四五円)
*全十五巻揃・税込定価合計・一五〇、六一七円

全巻セット販売

税込一括頒価・十五万円(送料不要)*
*直接小社にお申込み限り、送料小社負担にて
税込十五万円で直送申します。

(但し、二〇一二年三月末日まで)

創言社

〒813-0031
福岡市東区八田2-14-12
電話(092)673-4111
FAX(092)673-4135
〒振替01750-8-3135
E-mail:publ@sougensha.com

大谷 長 著作集 (全5巻)

- 第一巻 キェルケゴールに於ける授受の弁証法(解題・解説 大屋憲一)
354頁 定価:本体 8,500円(税込 8,925円) ISBN978-4-88146-541-7
- 第二巻 キェルケゴールにおける真理と現実性(解題・解説 國井哲義)
366頁 定価:本体 8,500円(税込 8,925円) ISBN978-4-88146-542-4
- 第三巻 キェルケゴールにおける自由と非自由(解題・解説 佐藤幸治)
602頁 定価:本体 15,000円(税込 15,750円) ISBN978-4-88146-543-1
- 第四巻 キェルケゴール研究論集(解題・解説 尾崎和彦、梶形公也)
482頁 定価:本体 12,000円(税込 12,600円) ISBN978-4-88146-544-8
- 第五巻 キェルケゴロイアナ集成(付略歴/主要論文目録)
(解題・解説 山下秀智、山本邦子) 360頁 定価:本体 8,500円
(税込 8,925円) ISBN978-4-88146-545-5



■揃定価 52,500円(本体価格・分売可)

(税込 55,125円)

■全巻揃セット5万円! (2012年3月末日まで)

直接小社お申込み限り、大谷長著作集(全5巻)
を5万円(税込)にて販売いたします。

(送料小社負担)